2020 年度

大学院前期博士課程(修士課程)

学生募集要項(再募集)

◆ 経 営 学 研 究 科

◆ 法　学　研　究　科

◆ 文　学　研　究　科

◆ 理　学　研　究　科

※ 医学研究科、看護学研究科、都市経営研究科の募集要項は別途発行

大　阪　市　立　大　学

●本学の理念、基本方針、ポリシー

大阪市立大学の理念

○大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成
○市民の誇りとなる大学
・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
○市民に親しまれる大学
・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

○都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
○人類の幸福と発展に貢献
○様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

○新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
○都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
○新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

それぞれの学問領域の研究成果を体系的に学習し、学際領域にも応用展開できる創造力ある人材の育成

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880 年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際との有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8 学部 10 研究科の多彩な学問分野にわたる総合大学として、国際的かつ個性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域・社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

〈大阪市立大学 大学院課程の３ポリシー〉

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、高度に専門性を深め、幅広い知識を備えて、それらを融合しうる研究者や職業人など社会に貢献できる人間を育成します。この目標を達成するために、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能等を身につけ、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

前期博士課程・修士課程では、各学問領域の研究成果の体系的な学習や自ら推進する研究活動等を通して、専門分野に関する高度の知識・技能並びに当該専門分野に関連する分野の基礎的素養を身につけ、当該分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力を身につけているかどうかが、課程修了の基準となります。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

大阪市立大学は、学位授与の方針に掲げる学修成果の達成のために、各研究科の専攻分野に関する科目、研究科を超えて全学に提供する大学院共通教育科目、および主専攻とは別に準備する博士課程教育リーディングプログラム科目からなる教育プログラムを体系的に編成するとともに、講義、演習、実習等の多様な形態による授業を開講し、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を行います。

大学院共通教育科目は、大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な、専門性を越えた普遍的で公正な視点で研究する姿勢を身につけることを目的として設置します。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識を有し、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

※ 詳しくは、以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/

〈修業年限について〉

前期博士課程(修士課程)の標準修業年限は２年です。

なお、法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める**長期履修学生制度**があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当(裏表紙参照)にお問い合わせください。

目　　次

〈　一　般　選　抜　〉

1 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3 事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4 出願書類等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
5 出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
6 選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（選抜試験）
経営学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
法学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
文学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
理学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
8 合格者発表等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
9 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
10 学費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
11 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
2 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
3 事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
4 出願書類等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5 出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
6 選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
（選抜試験）
経営学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
法学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
文学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
理学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
8 合格者発表等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
9 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
10 学費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
11 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

〈出願資格審査〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
〈社会人特別選抜学生募集の概要〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
○ キャンパスマップ・交通案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
○ 問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

〈 一 般 選 抜 〉

1 募 集 人 員

研究科	専　　攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	２０	若干名
経済学	現　代　経　済	２０	※募集なし
法　　学	法　学　政　治　学	１５	若干名
文　　学	哲　学　歴　史　学	１４	若干名
	人　間　行　動　学	１６	若干名
	言　語　文　化　学	１８	若干名
	文　化　構　想　学	１２	若干名

研究科	専　　攻	入学定員	募集人員
理　　学	数　　物　　系	３１	若干名
	物　質　分　子　系	３７	※募集なし
	生　物　地　球　系	２９	※募集なし
工　　学	機　械　物　理　系	３６	※募集なし
	電　子　情　報　系	５８	※募集なし
	化　学　生　物　系	３６	※募集なし
	都　　市　　系	４７	※募集なし
生活科学	生　活　科　学	５３	※募集なし

※理学研究科の外国人留学生特別選抜では、全ての専攻で募集します。

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

注１　選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

２　法学研究科・文学研究科及び理学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、24 ページを参照の上、各研究科が発行している学生募集要項で確認してください。

法学研究科・文学研究科及び理学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

３　入学定員変更について

2020 年度より入学定員(一般の募集人員)について、文学研究科の言語文化学専攻 18 名及び文化構想学専攻 12 名、理学研究科の数物系専攻 31 名及び物質分子系専攻 37 名、工学研究科の機械物理系専攻 36 名、電子情報系専攻 58 名及び化学生物系専攻 36 名となります。

2 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

(1)　大学を卒業した者及び 2020 年３月までに卒業見込みの者

(2)　大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2020 年３月までに授与される見込みの者

(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(5)　我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(6)　専修学校の専門課程(修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(7)　昭和 28 年文部省告示第５号をもって文部科学大臣の指定した者

(8)　外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が３年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって「２出願資格」(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年３月までに授与される見込みの者

(9)　学校教育法第 102 条第２項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10)　2020 年３月末で、大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(11)　当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年３月 31 日現在において 22 歳以上のもの

注１　「２出願資格」(8)により出願しようとする者は、2019 年 11 月 21 日(木)までに大学運営部入試課までお問い合わせください。

２　「２出願資格」(9)から(11)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2019 年 11 月 28 日(木)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください(23 ページ「出願資格審査」を参照してください)。

３　「２出願資格」(11)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者です。

３ 事 前 相 談

出願しようとする者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。また、事前相談は教員の出張等の都合により出願に間に合わない場合がありますので、余裕を持って(原則として出願期間初日までに)終えてください。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります)。

経営学研究科は研究指導教員への相談は不要です。文学研究科は、文化構想学専攻を除いて、研究指導教員への相談は不要です。

４ 出願書類等

※ 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

(1) 出願書類等（共通）

1	**入 学 願 書** **（写真２枚）**	① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ② ※印の欄は記入しないでください。 ③ 受験票と写真票には、縦４㎝×横３㎝の**同じ写真**（上半身、無帽で出願日より３か月以内に撮影したもの）をそれぞれ貼ってください。 ④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、４ページ以下「**６選抜方法(選抜試験)**」の「願書記入上の注意」をよく読んで、**指定された欄**のみ記入してください。 ⑤ 出願後の記載の変更は認めません。
2	**成績証明書及び卒業(見込)証明書**	出身大学長、又は学部長等が作成したもの (但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び「２出願資格」(9)から(11)に該当する者は提出する必要がありません)。 (注)
3	**学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書**	「２出願資格」(2)に該当する者は、提出すること。 (注)
4	**受験票等送付用封筒**	本学所定の封筒に **374 円**分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
5	**出願資格認定通知書**	「２出願資格」(9)から(11)により出願する者のみ提出。
6	**入 学 検 定 料**	**30,000 円** 郵便局で、本学所定の払込取扱票にて納付してください。 **〈10 ページ「11 注意事項」(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。〉**

(注) 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 研究科ごとに必要な書類

各研究科所定の用紙（願書以外）については本学 Web サイトからダウンロードすることもできます。
（Ａ４白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。）
[本学 Web サイト　https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui]

《経営学研究科》

A	**志望理由・研究計画書**	経営学研究科所定の用紙を用い、記述の上、提出してください。

《法学研究科》

A	**志望理由書 研究計画書**	法学研究科所定の用紙を用い、科目重視型方式に出願しようとする者は「志望理由書」を２部、課題重視型方式に出願しようとする者は「研究計画書」を４部提出してください。

《文学研究科》

A	**卒業論文（写し）**	志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。（※） 卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者の場合、「卒業論文（写し）」に代えて、「研究報告書」（志望専攻の専門分野について研究したことを 8,000 字程度にまとめたもの）を提出してください。 Ａ４版（縦長）にパソコン等で横書き（手書きも可）したものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。１行あたりの字数、１頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 「研究報告書」は出願時に提出してください（提出期日の延長は認めません）。
B	**文学研究科 必要事項記入用紙**	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	**Ａ以外の研究成果を示す論文等（写し） （希望者のみ）**	Ａ（卒業論文の写し又は研究報告書）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。

（※）Ａのうち志望専攻の専門分野に関係のあるものについて、出願期間中に提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。

①Ｂ「文学研究科必要事項記入用紙」に必要事項を記入。

②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：2020 年１月 30 日（木）の消印有効

学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：2020 年１月 30 日（木）17：00 まで

（郵送の場合は、封筒に「大学院入試出願書類期日延長書類在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録郵便により送付のこと。）

５ 出願方法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒（出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒可）を使用し、次の送付先に必ず**書留速達郵便（EMS を含む）**により送付してください。ただし、本学に在学している者（研究生・研修生等を含む）については、次の出願期間中の 10:00～17:00（12:00～12:45 を除く）の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます（本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること）。

出願期間	送付先
2020 年１月６日（月）～１月 10 日（金） 【10 日消印有効】 ※１月11日（土）以降に到着したもののうち消印がないものについては、１月10日（金）までに郵便局の窓口に差し出されたことが確認できるものに限り受理します。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号 大阪市立大学　大学運営部入試課

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

１月 21 日（火）頃に発送の予定ですので、１週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

６ 選 抜 方 法

入学者選抜は、選抜試験の成績および出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(ＪＲ阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(選 抜 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈求める学生像〉

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようと考える意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

〈入学者選抜の基本方針〉

筆答試験では経営や会計、産業の諸領域の基礎理論および外国語に関する習得について、口述試験では前期博士課程における専門的あるいは学際的知識の学修に対応できる意欲と能力について確認し、出願書類等も踏まえて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/business#policy

《グローバルビジネス専攻》

本専攻には、1)前期博士課程で個々の学問領域について高度に専門的な研究を実施したうえで、「修士論文を作成するコース」と、2)アジアにおける経済やビジネスについて研究を深めたのちに、課題研究論文を作成する「アジア・ビジネス研究プログラム」とが併設されています。取得できる学位は、修得単位によって修士(経営学)、修士(商学)、修士(グローバルビジネス)のいずれかとなりますが、「アジア・ビジネス研究プログラム」では修士(グローバルビジネス)のみとなります。「修士論文を作成するコース」の修了者は後期博士課程に進学して専門の学問領域の研究者となることが期待されます。「アジア・ビジネス研究プログラム」の修了者は専門的な知識を有した高度職業人として活躍することが期待されます。

そのため、後期博士課程に進学を予定する人は、本募集要項の入学試験を受験してください。「アジア・ビジネス研究プログラム」からは、原則として後期博士課程に進学することはできませんので、注意してください。

なお、「アジア・ビジネス研究プログラム」については、別冊の「アジア・ビジネス研究プログラム学生募集要項」をご参照ください。

2月12日（水）		2月13日（木）
10:00～12:00	13:10～15:10	10:00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
外 国 語 （100点） 英 語 **試験時に本研究科で用意した語学辞書を受験者全員に貸与します。** **TOEFL iBTによる代替え可（注２参照）**	**専門科目（出題分野）**（200点） 下記の出題分野からそれぞれ1問ずつ、合計10問が出題されます。 (A)経営、(B)経営情報、(C)国際ビジネス、(D)金融、(E)流通、(F)産業、(G)会計、(H)経営分析、(I)経済学、(J)数学・統計学 **10問**のうち**２問**を選択し、各問**1,000字以上**で解答してください。 ただし、解答文字数制限は、出題分野「(J)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。	筆答試験の解答と研究計画書について行います。 （１人当たり約15分）

注１ ２月12日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。
該当者は、２月13日(木)９：30に経営学研究科支援室(商学部棟１階事務室)前で発表します。

2　外国語(英語)の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。
① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
② TOEFL iBT(Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBT の成績(120 点満点)を 100 点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
③ 入試日の英語の筆答試験と TOEFL iBT の両方とも受験した場合は､TOEFL iBT の成績(120 点満点)を 100 点満点に換算して、入試の英語の筆答試験と TOEFL iBT の高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。

3　TOEFL iBT の成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。
① 2020 年２月５日(水)までに経営学研究科に送付された Official Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。
② 入試で有効とする TOEFL iBT の成績は、2018 年６月１日から 2019 年の５月 31 日までの１年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とする(TOEFL テスト事務局が有効とする２年ではありません)。
また、TOEFL PBT(Paper-Based Test)及び TOEFL-ITP(団体向け)の成績は不可とします。注意してください。

4　TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。

5　TOEFL iBT の Official Score Report(公式スコア票)が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード(Institution Code)及び Department Code に、次の番号を用いてください。
DI コード：8914　　Department Code：82

願書記入上の注意　受験科目・研究指導教員名は記入の必要がありません。

● 法　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
1　法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
2　実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
3　法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
4　自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人
※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy

《法学政治学専攻》

下記科目重視型(外国語１科目)、課題重視型(外国語なし)の方式があります。特に、研究者を志望する者は、科目重視型方式で受験してください。
なお、科目重視型方式で受験する者は「志望理由書」、課題重視型方式で受験する者は、「研究計画書」を提出してください**〔「４出願書類等」（３ページ）参照〕**。

科目重視型方式		**課題重視型方式**	
2月 13 日(木)		2月 13 日(木)	
9:00～12:00	14:30～16:00	9:00～10:30	13:00～
筆答試験	**筆答試験**	**筆答試験**	**口述試験**
下表の専門試験科目のうち、**２科目**を選択 **（各科目 100 点 合計 200 点）**	外　国　語 英　　語 ドイツ語 フランス語 中　国　語 から**１か国語**を選択 **（100 点）**	下表の専門試験科目のうち、**１科目**を選択 **（100 点）**	研究計画書及び筆答試験について行う。 （合否で判定する）

注１　課題重視型方式受験者について、実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟２階事務室前に掲示します。
２　専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。
なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法を選択しなければなりません。
３　刑事政策を専攻とすることはできません。
４　専門試験科目の筆答試験については、「六法」１冊を貸与します。
５　外国語科目の筆答試験については、辞書１冊の持ち込みを可とします(ただし、電子辞書は不可)。

専門試験科目	法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法(商法総則、会社法)、民事訴訟法、倒産法、社会保障法、国際法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法(中国法)、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学

願書記入上の注意
① 志望専門分野名欄の１に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。
大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。
なお、国際組織法は上記専門試験科目名にあげられていませんが、専攻科目にすることができます。
② 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
科目重視型方式受験者は、２科目
課題重視型方式受験者は、１科目
③ 科目重視型方式受験者は、受験科目欄「外国語」には、選択する外国語科目名を記入してください。
④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
〈求める学生像〉
人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人
〈入学者選抜の基本方針〉
筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。
※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy

《哲学歴史学専攻》

日時等 ＼ 専門分野	２月 12 日（水）		２月 13 日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100 点）**
	外国語 **（100 点）**	専門科目 **（200 点）**（出題分野）	
哲　学	英語、ドイツ語、フランス語から **１か国語**を選択	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（１人当たり約 30 分)。
日本史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から **１か国語**を選択	日　本　史　学	
東洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から **１か国語**を選択	東　洋　史　学	
西洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語から **１か国語**を選択	西　洋　史　学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《人間行動学専攻》

日時等 ＼ 専門分野	2月12日（水）		2月13日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100点）**
	外国語 **（100点）**	専門科目 **（200点）**（出題分野）	
社会学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から**1か国語**を選択	社会学概論・社会学研究法（調査法を含む）	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
心理学	英　語	心理学概論・心理学研究法	
教育学	英　語	教育学概論・教育方法学	
地理学	英　語	地　理　学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《言語文化学専攻》

日時等 ＼ 専門分野	2月12日（水）		2月13日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13：30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100点）**
	外国語 **（100点）**	専門科目 **（200点）**（出題分野）	
国語国文学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から**1か国語**を選択	国文学・国語学	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
中国語中国文学	中国語	中国文学・中国語学・中国文化学	
英語英米文学	英　語	英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語フランス語圏言語文化学	ドイツ語、フランス語、英語、ロシア語から**1か国語**を選択	ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学 注	
言語応用学	英　語	言語応用学（言語理論・言語応用論・言語比較論・言語教育論等）	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。
注 ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《文化構想学専攻》

日時等 / 専門分野	2月12日（水）		2月13日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100点）**
	外国語 **（100点）**	専門科目 **（200点）**（出題分野）	
表現文化学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から **1か国**語を選択	表現文化学（文化理論、表象文化論、比較表現論、ポピュラー文化論等）	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
アジア文化学	英語、中国語、韓国・朝鮮語から **1か国語**を選択	アジア文化学（アジア地域研究、アジア文化研究に関する基礎的問題）	
文化資源学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から **1か国**語を選択	文化資源学（芸術文化、観光文化、国際文化、文化を活用した社会実践等に関する問題）	

※　各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

● 理　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※　ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy

《数物系専攻》

2月10日（月）			
9:30～12:00	13:00～15:30	16:00～17:20	17:35～
筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎的分野	**専門分野**	英　語	専門科目、卒業研究等
数　学	数　学		

注　筆答試験の結果により、指定された者についてのみ口述試験を行います。該当者は筆答試験終了後に試験会場で発表します。なお、受験状況によっては口述試験の終了時刻が遅くなる場合があります。遠方からの受験等により配慮が必要な場合は1月10日(金)までに、理学研究科教務担当に申し出てください。

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

講座番号	講　座　名	専　門　分　野
A1	数理構造論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学
A2	数理解析学	確率論、応用数学、偏微分方程式論、微分幾何学、実解析学・複素解析学

② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。

③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

理学研究科では国際的な教育研究機能強化への一環として諸外国の留学生をより多く受け入れるため、前期博士課程において英語のみで授業・研究指導を受けられる体制を新たに導入します。つきましては本学に入学し履修された科目が英語の授業である場合があります。

7　受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がいを有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2019 年 11 月 28 日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、2019 年 11 月 29 日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り 2019 年 11 月 28 日(木)までに申し出てください。

8　合格者発表等

(1)　合 格 者 発 表

掲示・Web サイトにより合格者の発表を行います。

研　究　科	日　時（掲示・Web サイト掲載期間）	場所（掲示）
経 営 学 研 究 科	**３月２日（月）10：00 ～ ３月６日（金）17：00**	各研究科の指定する場所
法　学　研　究　科	**３月４日（水）10：00 ～ ３月10日（火）17：00**	
文　学　研　究　科	**３月３日（火）10：00 ～ ３月９日（月）17：00**	
理　学　研　究　科	**２月26日（水）10：00 ～ ３月３日（火）17：00**	

Web サイトでの合格者発表

大阪市立大学入試情報サイト(https://daigakujc.jp/ocu-in-goukaku/)に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2)　合 格 通 知 書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、**「合格通知書」**及び**「入学手続等について」**をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、**「合格通知書」**及び**「入学手続等について」**を発送します（手渡しでの書類交付はありません)。

9　入 学 手 続

日　時　　**2020 年３月 26 日（木）　10：00～15：00**（ただし、12：00～12：45 を除く）

場　所　　**入学手続の場所は、別途合格者に通知します。**

10　学　　費

現行の金額は次のとおりですが、2020 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納　付 区　分	「大阪市民及びその子」 **注**	２２２,０００円
		「その他の者」	３８２,０００円
授業料		年間　　５３５,８００円	

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注１　「大阪市民及びその子」とは、入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父または母が、入学日の１年以上前（2019 年４月１日以前）から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

２　「大阪市民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」および「住民票などの公的書類（入学手続日の属する月の１日以降に交付を受けたもの)」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格者発表日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※　既納の納付金は、還付いたしません。

授業料減免等の経済支援制度については、本学 Web サイト【https://www.osaka-cu.ac.jp/（ホーム » 教育・学生生活 » 経済支援制度)】をご覧ください。

11 注 意 事 項

(1) 出願受理後の出願取消しは一切認めません。
(2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
(3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
・出願書類の不備等により受理されなかった場合
・重複して入学検定料を払い込んだ場合
※ 返還の方法等は、出願期間最終日より１か月以内に大学運営部入試課までお問い合わせください。
(4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
(5) １ページ「２出願資格」(9)から(11)による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
(6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。
前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。
(7) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「大阪市立大学安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出及び技術の提供の観点から、外国人留学生の受け入れについては、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
詳細については、本学 Web サイトの「安全保障輸出管理」をご覧ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/promotion_office/export

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合せください(裏表紙参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1　募 集 人 員

研究科	専　　攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	２０	若干名
経済学	現　代　経　済	２０	※募集なし
法　　学	法　学　政　治　学	１５	若干名
文　　学	哲　学　歴　史　学	１４	若干名
	人　間　行　動　学	１６	若干名
	言　語　文　化　学	１８	若干名
	文　化　構　想　学	１２	若干名
理　　学	数　　物　　系	３１	若干名
	物　質　分　子　系	３７	若干名
	生　物　地　球　系	２９	若干名
工　　学	機　械　物　理　系	３６	※募集なし
	電　子　情　報　系	５８	※募集なし
	化　学　生　物　系	３６	※募集なし
	都　　市　　系	４７	※募集なし
生活科学	生　活　科　学	５３	※募集なし

※ 理学研究科の一般選抜では、数物系専攻のみ募集します。

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

注１　選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

２　法学研究科・文学研究科及び理学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、24 ページを参照の上、各研究科が発行している学生募集要項で確認してください。法学研究科・文学研究科及び理学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

３　入学定員変更について

2020 年度より入学定員(一般の募集人員)について、文学研究科の言語文化学専攻 18 名及び文化構想学専攻 12 名、理学研究科の数物系専攻 31 名及び物質分子系専攻 37 名、工学研究科の機械物理系専攻 36 名、電子情報系専攻 58 名及び化学生物系専攻 36 名となります。

2　出 願 資 格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

(1)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(2)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(3)　我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(4)　外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び 2020 年３月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者

(5)　昭和 28 年文部省告示第５号をもって文部科学大臣の指定した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が３年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって「２出願資格」(3)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年３月までに授与される見込みの者

(7)　外国人留学生として学校教育法第 102 条第２項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(8)　2020 年３月末で、外国人留学生として日本の大学に３年以上、又は外国において４年制大学に３年以上在学し、もしくは 15 年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

(9)　当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年３月 31 日現在において 22 歳以上のもの

注１　「２出願資格」(4)の専修学校の専門課程は修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。

２　「２出願資格」(6)により出願しようとする者は、2019 年 11 月 21 日(木)までに大学運営部入試課までお問い合わせください。

３　「２出願資格」(7)から(9)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2019 年 11 月 28 日(木)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要な書類を提出してください(23 ページ「出願資格審査」を参照してください)。

３　事 前 相 談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要ですので、出願前〔2019 年 11 月 28 日(木)まで〕に研究指導教員に必ず相談しておいてください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合せください(各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります)。

経営学研究科は、研究指導教員の事前相談は不要です。

４　出願書類等

※　必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

(1)　出願書類等（共通）

1	**入　学　願　書** **（写真２枚）**	①　本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。 ②　※印の欄は記入しないでください。 ③　受験票と写真票には、縦４㎝×横３㎝の**同じ写真**(上半身、無帽で出願日より３か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。 ④　「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、15 ページ以下「**６選抜方法(選抜試験)**」の「願書記入上の注意」をよく読んで、**指定された欄**のみ記入してください。 ⑤　出願後の記載の変更は認めません。
2	**成　績　証　明　書**	**最終出身(在籍)大学のもの** **(但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び「２出願資格」(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません)。**　(注)
3	**卒業(見込)証明書**	**最終出身(在籍)大学のもの** **〈学士等の学位の記載があるもの。記載がない場合は学位取得証明書も提出。〉** (但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者及び「２出願資格」(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません)。 (注) **※卒業証書(原本)の送付は認められません。**
4	**日本語の能力証明書**	日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出(様式任意)。 ※個人の印では認められません。
5	**在留資格・期間を証明する書類**	**日本国内に居住する者** 「在留カード」の両面コピー又は市区町村が発行する「住民票の写し(原本)」(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)を提出してください。 **外国居住者又は短期滞在者** 「パスポートのコピー」写真・国籍・氏名が掲載されているページと上陸許可(短期滞在者のみ)が掲載されているページを提出してください。
6	**受　験　票　等 送　付　用　封　筒**	本学所定の封筒に **374 円**分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所および氏名を記入したもの。
7	**出願資格認定通知書**	「２出願資格」(7)から(9)により出願する者のみ提出。
8	**履　　歴　　書**	本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。 ①　学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ②　学校名及び入学・卒業年月日は、全て記入してください。 ③　研究歴、職歴があれば記入してください。

９	入 学 検 定 料	30,000 円 郵便局で、本学所定の払込取扱票にて納付してください。 **〈22 ページ「11 注意事項」(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。〉**

（注） **和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文も必ず提出してください。個人の署名や印では認められません。**

(2) 研究科ごとに必要な書類

各研究科所定の用紙(願書以外)については本学 Web サイトからダウンロードすることもできます。
（Ａ４白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。）
［本学 Web サイト　https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui］

※ 経営学研究科及び文学研究科については、出身大学長等の推薦書は必要ありません。

《経営学研究科》

A	志 望 理 由 ・ 研 究 計 画 書	経営学研究科所定の用紙を用い、志望理由及び研究計画等を記述の上、提出してください。

《文 学 研 究 科》

A	卒業論文（写し）	志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業(見込)で同一専攻専門分野を受験する者は不要です)。(※)
		卒業論文(写し)の表紙に、**出身大学の学部長等が作成した「卒業論文の写しに相違ない旨の証明書」（見本参照）**を貼ってください。
		卒業論文が日本語以外の場合は、出願者自身が作成した日本語の要旨を添付してください。要旨は 2,000 字以内で、Ａ４版(縦長)にパソコン等で横書き(手書きも可)したものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。１行あたりの字数、１頁あたりの行数等の様式は自由です。
		卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者の場合、「卒業論文(写し)」に代えて、「研究報告書」(志望専攻の専門分野について研究したことを日本語で 8,000 字程度にまとめたもの)を提出してください。Ａ４版(縦長)にパソコン等(手書きも可)で横書きしたものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。１行あたりの字数、１頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 「研究報告書」は出願時に提出してください(提出期日の延長は認めません)。
B	文 学 研 究 科 必要事項記入用紙	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	Ａ以外の研究成果を示す論文等（写し） （希望者のみ）	Ａ（卒業論文の写し又は研究報告書）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。

(※)Ａのうち志望専攻の専門分野に関係のあるものについて、出願期間中に提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。

①Ｂ「文学研究科必要事項記入用紙」に必要事項を記入。
②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：2020 年１月 30 日(木)の消印有効
学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：2020 年１月 30 日(木)17：00 まで
（郵送の場合は、封筒に「大学院入試出願書類期日延長書類在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録郵便により送付のこと。）

《理学研究科》

A	**推　薦　書** **（全員）**	最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。
B	**ＴＯＥＩＣ** **公式認定証(原本)** **（＊）** **(物質分子系専攻に出願する者のみ)**	2018 年１月１日から 2019 年 12 月 31 日の間に実施された TOEIC Listening & Reading Test のスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 団体特別受験制度(IP テスト)のスコアは無効です。 一度、提出された TOEIC 公式認定証(原本)の差し替えは認めません。 また、提出された TOEIC 公式認定証(原本)は返却しません。
※出願時に「TOEIC 公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。 ①申立書(Ａ４用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。 ②TOEIC 公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。 学生サポートセンター理学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送：2020 年１月 17 日(金)消印有効 学生サポートセンター理学研究科教務担当に直接持参：2020 年１月 17 日(金)17：00 まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC 公式認定証　在中」と朱書きし、必ず「理学研究科教務担当」あてに郵便局で**特定記録速達郵便**により送付のこと。)		

（＊）写真のないものは無効とします。提出された TOEIC 公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

５　出 願 方 法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒可)を使用し、次の送付先に必ず**書留速達郵便(EMS を含む)**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、次の出願期間中の 10:00～17:00(12:00～12:45 を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

出　願　期　間	送　付　先
2020 年１月６日（月）～１月 10 日（金） **【10 日消印有効】** **※１月11日(土)以降に到着したもののうち消印がないものについては、１月10日(金)までに郵便局の窓口に差し出されたことが確認できるものに限り受理します。**	〒558-8585 **大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号** **大阪市立大学　大学運営部入試課**

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。
１月 21 日(火)頃に発送の予定ですので、１週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

６　選 抜 方 法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(ＪＲ阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

（選 抜 試 験）

● 経　営　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈求める学生像〉

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようと考える意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

〈入学者選抜の基本方針〉

筆答試験では経営や会計、産業の諸領域の基礎理論および外国語に関する習得について、口述試験では前期博士課程における専門的あるいは学際的知識の学修に対応できる意欲と能力について確認し、出願書類等も踏まえて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/business#policy

《グローバルビジネス専攻》

本専攻には、1)前期博士課程で個々の学問領域について高度に専門的な研究を実施したうえで、「修士論文を作成するコース」と、2)アジアにおける経済やビジネスについて研究を深めたのちに、課題研究論文を作成する「アジア・ビジネス研究プログラム」とが併設されています。取得できる学位は、修得単位によって修士(経営学)、修士(商学)、修士(グローバルビジネス)のいずれかとなりますが、「アジア・ビジネス研究プログラム」では修士(グローバルビジネス)のみとなります。「修士論文を作成するコース」の修了者は後期博士課程に進学して専門の学問領域の研究者となることが期待されます。「アジア・ビジネス研究プログラム」の修了者は専門的な知識を有した高度職業人として活躍することが期待されます。

そのため、後期博士課程に進学を予定する人は、本募集要項の入学試験を受験してください。「アジア・ビジネス研究プログラム」からは、原則として後期博士課程に進学することはできませんので、注意してください。

なお、「アジア・ビジネス研究プログラム」については、別冊の「アジア・ビジネス研究プログラム学生募集要項」をご参照ください。

2月12日（水）		2月13日(木)
10:00～12:00	13:10～15:10	10:00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
英　語 (100点) 解答は、日本語で行い、表記はひらがな、ローマ字でも可。 **試験時に本研究科で用意した語学辞書を受験者全員に貸与します。** **TOEFL iBTによる代替え可（注２参照）**	**専門科目（出題分野）**(200点) 下記の出題分野からそれぞれ１問ずつ、合計 10 問が出題されます。 (A)経営(B)経営情報(C)国際ビジネス(D)金融 (E)流通(F)産業(G)会計(H)経営分析(I)経済学 (J)数学・統計学 **10問のうち２問**を選択し、**日本語1,000字程度**で解答してください。 ただし、日本語の文字数制限は、出題分野「(J)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。	筆答試験の解答と研究計画書について行います。 （１人当たり約15分）

注１　２月12日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。
該当者は、２月13日(木)９：30に経営学研究科支援室(商学部棟１階事務室)前で発表します。

２　英語の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。
① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
② TOEFL iBT(Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBT の成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
③ 入試日の英語の筆答試験と TOEFL iBT の両方とも受験した場合は、TOEFL iBT の成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の筆答試験と TOEFL iBT の高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。

３　TOEFL iBT の成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。
① 2020 年２月５日(水)までに経営学研究科に送付された Official Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。

② 入試で有効とする TOEFL iBT の成績は、2018 年６月１日から 2019 年の５月 31 日までの１年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とする(TOEFL テスト事務局が有効とする２年ではありません。)
また、TOEFL PBT(Paper-Based Test)及び TOEFL-ITP(団体向け)の成績は不可とします。注意してください。

4 TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。

5 TOEFL iBT の Official Score Report(公式スコア票)が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード(Institution Code)及び Department Code に、次の番号を用いてください。
DI コード：8914　Department Code：82

願書記入上の注意　受験科目・研究指導教員名は記入の必要がありません。

● 法　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1　法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
2　実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
3　法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
4　自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy

《法学政治学専攻》

2月 13 日（木）	
9:00～12:00	14:30～
筆答試験	**口述試験**
下表の専門試験科目のうち、**２科目**を選択 **（各科目 100 点、合計 200 点）**	①　日本語での説明 （パーソナル・ヒストリーと留学の目的） ②　質疑応答 （合否で判定する）

注１　実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟２階事務室前に掲示します。
２　専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法と他の１科目を選択しなければなりません。
３　刑事政策を専攻とすることはできません。
４　専門試験科目の筆答試験については、「六法」１冊を貸与します。

専門試験科目	法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法(商法総則、会社法)、民事訴訟法、倒産法、社会保障法、国際法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法(中国法)、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学

願書記入上の注意
①　志望専門分野名欄の１に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。
なお、国際組織法は、上記専門試験科目名にあげられていませんが、専攻科目にすることができます。
②　受験科目欄「専門」には、受験する専門試験科目名(２科目)を記入してください。
③　研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈求める学生像〉

人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人

社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy

《哲学歴史学専攻》

日時等 ＼ 専門分野	2月12日（水）		2月13日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100点）**
	外国語 **（100点）**	専門科目 **（200点）**（出題分野）	
哲　学	日本語 ※ 専門分野別に出題されます。	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
日本史学		日　本　史　学	
東洋史学		東　洋　史　学	
西洋史学		西　洋　史　学	

※　各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《人間行動学専攻》

日時等 ＼ 専門分野	2月12日（水）		2月13日（木）
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験	筆答試験	口述試験 **（100点）**
	外国語 **（100点）**	専門科目 **（200点）**（出題分野）	
社会学	日本語 ※ 専門分野別に出題されます。	社会学概論･社会学研究法（調査法を含む）	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
心理学		心理学概論・心理学研究法	
教育学		教育学概論・教育方法学	
地理学		地　理　学	

※　各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《言語文化学専攻》

<table>
<tr><td rowspan="2">日時等

専門分野</td><td colspan="2">2月 12 日（水）</td><td>2月 13 日（木）</td></tr>
<tr><td>10:30～12:00</td><td>13:30～16:30</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td></td><td>筆答試験
外国語（100 点）</td><td>筆答試験
専門科目（200 点）
（出題分野）</td><td rowspan="2">口述試験
（100 点）</td></tr>
<tr><td>国語国文学</td><td rowspan="5">日本語
※ 専門分野別に出題されます。</td><td>国文学・国語学</td></tr>
<tr><td>中国語中国文学</td><td>中国文学・中国語学・中国文化学</td><td rowspan="5">専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約 30 分）。</td></tr>
<tr><td>英語英米文学</td><td>英米文学・英語学・英米文化学</td></tr>
<tr><td>ドイツ語
フランス語圏
言語文化学</td><td>ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学
フランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学 注</td></tr>
<tr><td>言語応用学</td><td>言語応用学
（言語理論・言語応用論、言語比較論・言語教育論等）</td></tr>
</table>

※　各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

注　ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《文化構想学専攻》

<table>
<tr><td rowspan="2">日時等

専門分野</td><td colspan="2">2月 12 日（水）</td><td>2月 13 日（木）</td></tr>
<tr><td>10:30～12:00</td><td>13:30～16:30</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td></td><td>筆答試験
外国語（100 点）</td><td>筆答試験
専門科目（200 点）
（出題分野）</td><td rowspan="2">口述試験
（100 点）</td></tr>
<tr><td>表現文化学</td><td rowspan="3">日本語
※ 専門分野別に出題されます。</td><td>表現文化学
（文化理論、表象文化論、比較表現論、ポピュラー文化論等）</td><td rowspan="3">専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約 30 分）。</td></tr>
<tr><td>アジア文化学</td><td>アジア文化学
（アジア地域研究、アジア文化研究に関する基礎的問題）</td></tr>
<tr><td>文化資源学</td><td>文化資源学
（芸術文化、観光文化、国際文化、文化を活用した社会実践等に関する問題）</td></tr>
</table>

※　各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意　「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

● 理　学　研　究　科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy

《数物系専攻》

2月10日（月）	
9:30～12:00	13：30～
筆答試験	口述試験
英語および専門科目 （英語が母語とみなされる場合は、 他の試験を課すことがあります。）	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の１～３に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

講座番号	講　座　名	専　門　分　野
Ａ１	数 理 構 造 論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学
Ａ２	数 理 解 析 学	確率論、応用数学、偏微分方程式論、微分幾何学、 実解析学・複素解析学
Ａ３	基 礎 物 理 学 （理 論）	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
Ａ４	宇宙・高エネルギー 物 理 学（実 験）	宇宙線物理学、 高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、 重力波実験物理学
Ａ５	物 性 物 理 学	超低温物理学（実験）、光物性物理学（実験）、 生体・構造物性物理学（実験）、素励起物理学（理論）、 電子相関物理学（理論）、レーザー量子物理学（実験）

② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。

③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《物質分子系専攻》

2月10日（月）	
9:30～12:00	13：30～
筆答試験	口述試験
専門科目	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

※ 外国語（英語）の能力は、TOEIC Listening & Reading Test のスコアにより評価します。

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄、「受験科目」欄には記入する必要はありません。

② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《生物地球系専攻》

2月10日（月）	
10:00～12:00	13：30～
筆答試験	口述試験
英語および専門科目 （英語が母語とみなされる場合は、 他の試験を課すことがあります。）	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の１～３に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください)。

講座番号	講　座　名	専　門　分　野
Ｃ１	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
Ｃ２	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
Ｃ３	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
Ｃ４	環　境　地　球　学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
Ｃ５	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。

③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

理学研究科では国際的な教育研究機能強化への一環として諸外国の留学生をより多く受け入れるため、前期博士課程において英語のみで授業・研究指導を受けられる体制を新たに導入します。つきましては本学に入学し履修された科目が英語の授業である場合があります。

7　受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がいを有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2019年11月28日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお､2019年11月29日(金)以降においても､可能な限り対応いたしますが､できる限り11月28日(木)までに申し出てください。

8　合格者発表等

(1)　合 格 者 発 表

掲示・Webサイトにより合格者の発表を行います。

研　究　科	日　時（掲示・Webサイト掲載期間）	場所（掲示）
経 営 学 研 究 科	**3月2日（月）10：00 ～　3月6日（金）17：00**	各研究科の指定する場所
法　学　研　究　科	**3月4日（水）10：00 ～　3月10日（火）17：00**	
文　学　研　究　科	**3月3日（火）10：00 ～　3月9日（月）17：00**	
理　学　研　究　科	**2月26日（水）10：00 ～　3月3日（火）17：00**	

Webサイトでの合格者発表

大阪市立大学入試情報サイト(https://daigakujc.jp/ocu-in-goukaku/)に､合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2)　合 格 通 知 書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、**「合格通知書」**及び**「入学手続等について」**をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、**「合格通知書」**及び**「入学手続等について」**を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9　入 学 手 続

日　時　　**2020年3月26日（木）　10:00～15:00**（ただし、12:00～12:45 を除く）

場　所　　**入学手続の場所は、別途合格者に通知します。**

10　学　　費

現行の金額は次のとおりですが、2020年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納　付 区　分	「大阪市民及びその子」**注**	２２２，０００円
		「その他の者」	３８２，０００円
授業料		年間　　５３５，８００円	

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注１　「大阪市民及びその子」とは、入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父または母が、入学日の１年以上前(2019年４月１日以前)から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

２　「大阪市民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類(入学手続日の属する月の１日以降に交付を受けたもの)」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格者発表日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※　既納の納付金は、還付いたしません。

また、授業料の減免の制度があります。詳細については、国際センター(TEL 06-6605-3558)において別途お知らせします。

11 注 意 事 項

(1) 出願受理後の出願取消しは一切認めません。
(2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
(3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
・出願書類の不備等により受理されなかった場合
・重複して入学検定料を払い込んだ場合
※ 返還の方法等は、出願期間最終日より１か月以内に大学運営部入試課までお問い合わせください。
(4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
(5) 11 ページ「２出願資格」(7)から(9)による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
(6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。
前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。
(7) 入学手続に際して、**保証人(原則として日本国内に居住する者)**が必要です。
(8) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「大阪市立大学安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出及び技術の提供の観点から、外国人留学生の受け入れについては、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
詳細については、本学 Web サイトの「安全保障輸出管理」をご覧ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/promotion_office/export

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合せください(裏表紙参照)。

＜出願資格審査＞

一　般　選　抜　出　願　資　格（9）～(11)〔1ページ参照〕 **に該当する者が対象です。**
外国人留学生特別選抜出願資格（7）～（9）〔11ページ参照〕

1．出願資格審査申請期限
2019年11月28日（木）【消印有効】

2．出願資格審査申請書等送付先
〒558-8585 大阪市住吉区杉本３－３-138　大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
（志望する研究科あてに送付してください〔裏表紙参照〕。）

3．出願資格審査申請書類
① 出願資格審査申請書（本学所定用紙）
② 最終学歴に関する証明書

○ 一般選抜出願資格（9）の者
外国人留学生特別選抜出願資格（7）の者
- 在籍した最終大学(学部)の退学証明書及び在籍大学院研究科の在籍証明書又は修了(見込)証明書
- 在籍した大学(学部)の成績証明書及び在籍大学院研究科の成績証明書

○ 一般選抜出願資格(10)の者
外国人留学生特別選抜出願資格（8）の者
- 成績証明書
- 在学証明書
- 指導教員の推薦書(厳封したもの)

○ 一般選抜出願資格(11)の者
外国人留学生特別選抜出願資格（9）の者
- 最終出身学校の成績証明書
- 卒業(修了)証明書
- 最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)

③ 職務経歴又は学力に関する書類（提出を求める場合があります）
④ 志望理由書　　（提出を求める場合があります）
⑤ その他、本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

4．出願資格審査　　各研究科の選考方法による。
5．出願資格審査結果通知方法　　出願締め切り日の１週間前までに郵送(速達)で通知。
（ただし、理学研究科については別途連絡します。）

6．出願資格認定有効期限　　当該年度に実施する入試に限る。(当該研究科に限り有効)

7．出願資格審査申請書請求方法
2019年11月28日（木）【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求は早めに行ってください。

① 直接窓口で受領する場合
学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。
月 ～ 金曜日(祝日及び休業日を除く)
９：00～17：00(ただし、12：00～12：45を除く)

② 郵送で請求する場合

ア　請求する封筒の表に「大学院前期博士課程出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載。
イ　返信用封筒(94円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。
ウ　請求先：〒558-8585　大阪市住吉区杉本３－３-138
大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
（志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。）

③ 本学Webサイトからダウンロードする場合(Ａ４白紙に片面でプリントアウトしてください。)
[本学Webサイト　https:// www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui]

＜社会人特別選抜学生募集の概要＞

<table>
<tr><th colspan="2">研究科名</th><th>法学研究科</th><th>文学研究科</th><th>理学研究科</th></tr>
<tr><td colspan="2">専攻名</td><td>法学政治学</td><td>哲学歴史学
人間行動学
言語文化学
文化構想学</td><td>物質分子系</td></tr>
<tr><td colspan="2">募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出願資格

（A及びBの両条件を充たす者）</td><td>A</td><td colspan="3">次のいずれかに該当すること
(1)　大学を卒業した者及び2020年３月までに卒業見込みの者
(2)　大学改革支援･学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2020 年３月までに授与される見込みの者
(3)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、及び 2020 年３月までに修了見込みの者
(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者
(5)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者
(6)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び 2020 年３月までに修了見込みの者
(7)　昭和 28 年文部省告示第５号をもって文部科学大臣の指定した者
(8)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年３月までに授与される見込みの者
(9)　学校教育法第 102 条第２項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
(10) 2020 年３月末で、大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(11) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年３月 31 日現在において 22 歳以上のもの</td></tr>
<tr><td>B</td><td>2020年３月31日現在において、３年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。(9)～(11)については、別途出願資格認定が必要。</td><td>2020年３月31日現在において上記(1)～(9)、(11)の出願資格取得者で、３年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。</td><td>2020年３月31日現在において上記(1)～(11)の出願資格取得者で、３年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">出願書類
配付時期</td><td colspan="3">11 月上旬</td></tr>
<tr><td colspan="2">出願期間</td><td colspan="3">１月６日(月)～１月 10 日(金)【10 日消印有効】</td></tr>
<tr><td colspan="2">選抜試験</td><td>２月 13 日（木）</td><td>２月 12 日（水）
13 日（木）</td><td>２月 10 日（月）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合格発表</td><td>３月 ４日（水）</td><td>３月 ３日（火）</td><td>２月 26 日（水）</td></tr>
<tr><td colspan="2">選抜方法</td><td>研究計画書などの書類審査、専門科目１科目の筆答試験及び口述試験により行います。</td><td>筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。</td><td>筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。</td></tr>
</table>

※　社会人特別選抜による入学者についても、一般選抜による入学者と同様に昼間課程（夜間課程はありません）となりますが、夜間にも履修できるようにするなど、さまざまな便宜を図っている研究科もあります。

詳しくは各研究科が発行している前期博士課程社会人特別選抜学生募集要項(再募集)を参照してください。

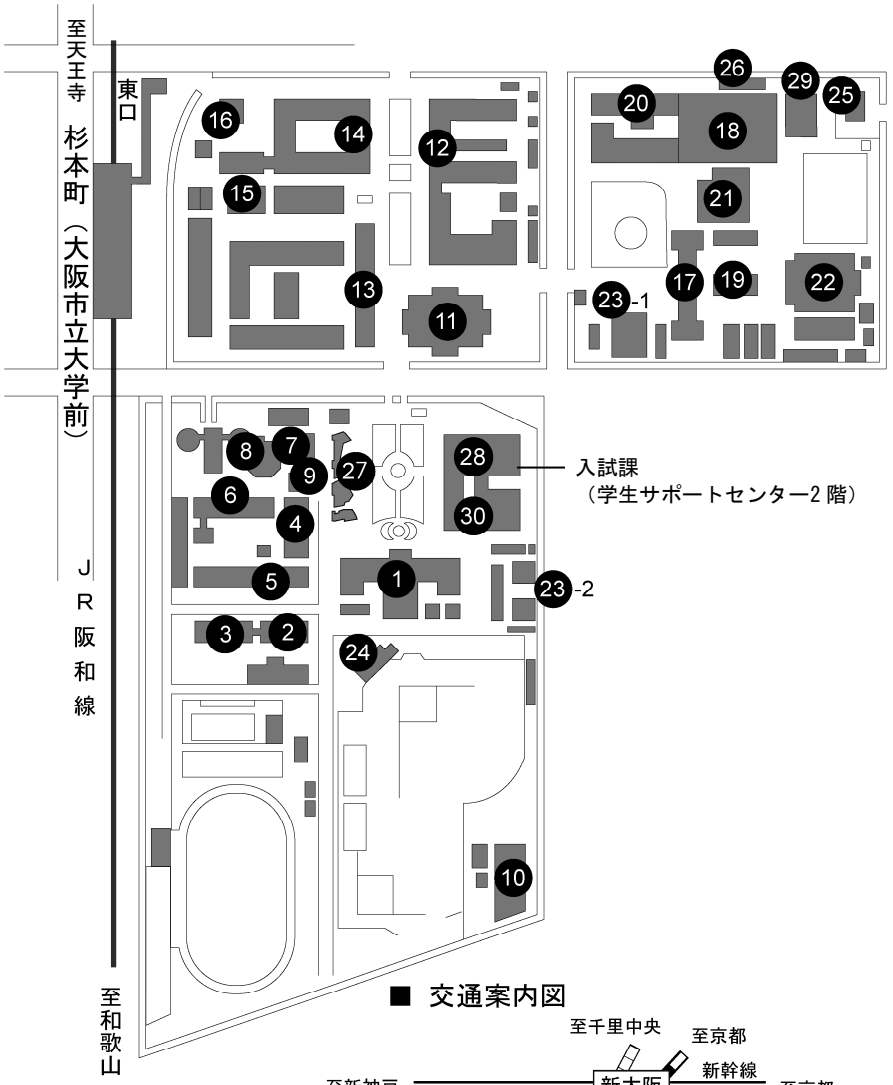
募集要項の請求方法は、裏表紙下欄を参照してください。

OCU 大阪市立大学 Osaka City University キャンパスマップ

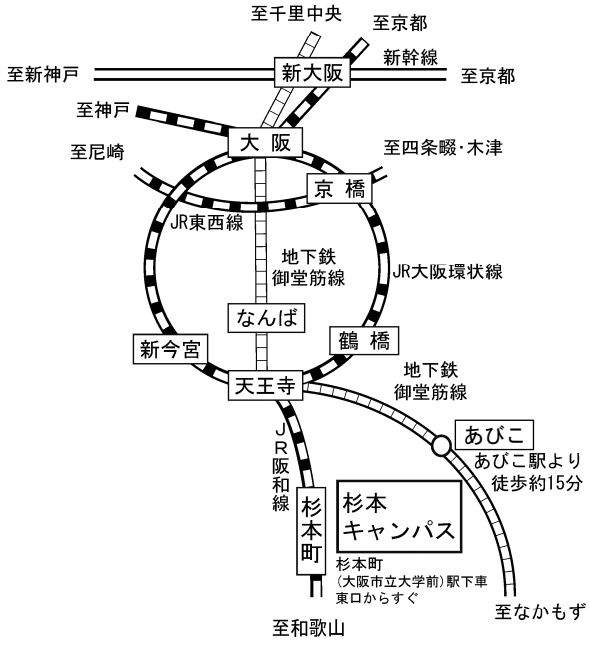
■ 杉本キャンパス

〒558-8585　大阪市住吉区杉本 3-3-138
JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4 号出口より南西へ徒歩約 15 分

1. １号館
2. 商学部棟
3. 経済学部棟
4. 法学部棟
5. 文学部棟
6. 経済研究所棟
7. 都市研究プラザ
8. 田中記念館
9. 保健管理センター
10. 河海工学実験場
11. 学術情報総合センター
12. 理学部棟
13. 工学部棟
14. 生活科学部棟
15. 工作技術センター
16. 生活科学部棟別館
17. ２号館
18. 全学共通教育棟
19. ４号館
20. 基礎教育実験棟
21. 第１体育館
22. 第２体育館
23-1. 第１学生ホール
23-2. 第２学生ホール
24. 硬式野球場スタンド
25. ゲストハウス
26. インキュベータ
27. 高原記念館
28. 学生サポートセンター
29. 共通研究棟
30. 本部棟



■ 交通案内図



-MEMO-

-MEMO-

● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター	〒558-8585 大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号	
経営学研究科教務担当	TEL　06-6605-2202	FAX　06-6605-3649 〔各研究科共通〕 （FAX でお問い合わせの際は、必ず志望研究科名を明記してください。）
法学研究科教務担当	TEL　06-6605-2303	
文学研究科教務担当	TEL　06-6605-2353	
理学研究科教務担当	TEL　06-6605-2504	
◎受付時間　月～金曜日（祝日及び休業日を除く）　９：00～17：00（ただし、12:00～12:45 を除く）		

◆出願手続等

大阪市立大学 大学運営部入試課	TEL 06-6605-2141

出願書類の請求方法（郵送希望者）

１　封筒の表に「赤色」で「大学院○○研究科前期博士課程（修士課程）学生募集要項（再募集）請求（一般選抜・外国人留学生特別選抜）又は（社会人特別選抜）」と記載
２　返信用封筒（封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、310 円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角形２号（24.0cm×33.2cm）〕）を同封してください。
３　請求先　　〒558-8585　大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号
大阪市立大学 大学運営部入試課

大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営部 入試課
〒558-8585　大阪市住吉区杉本３丁目３番１３８号
2019 年 11 月発行